

春日山原始林保全計画 保全再生事業の進捗状況

	平成24～27年度 (2012～2015)	平成28～平成30年度 (2016～2018)	令和元～令和6年度 (2019～2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度～ (2026～)
10の保全方策	「春日山原始林保全計画」(平成28年3月)		「春日山原始林保全計画」の更新		
【保全方策1】 照葉樹林の良好な状態の維持 (植生保護柵の設置)	植生保護柵の設置 (平成25～27年、計32箇所)	植生保護柵の設置 (平成28年、4箇所)	植生保護柵の設置(令和3～6年、計6箇所)	植生保護柵の設置(5箇所)	植生保護柵の設置、保全方策の拡充
【保全方策2】 照葉樹林の多様性の維持 (後継樹、下層植生等の保全)	後継樹、下層植生等の生育環境調査 (平成24年)	植生保護柵モニタリング調査(平成25年～)			植生保護柵の効果検証 モニタリング調査の再検討
【保全方策3】 後継樹の育成による 文化財としての価値の修復		「後継樹育成実施計画」(平成29年)	「後継樹育成計画」(令和6年) 修復植栽の実証実験(令和元年～)	若草山(ナンキンハゼ駆除区)に おける修復植栽の実証実験	地域性の後継樹苗木の育苗体制の拡充 各種保全事業への後継樹苗木の活用
【保全方策4】 外来種ナンキンハゼの侵入の 抑制	ナンキンハゼ拡大状況調査 (平成27年)	「ナンキンハゼ駆除マニュアル (案)」(平成28年)	「ナンキンハゼ駆除マニュアル」(令和4年) ナンキンハゼ生育状況調査(令和2～3年) 伐採による駆除(令和2～令和5年)、伐採後の 萌芽状況のモニタリング(令和3年～)	萌芽状況のモニタリング (1本で萌芽、伐採箇所周辺で 実生の発生)	ナンキンハゼの駆除の継続、駆除方法の確立
【保全方策5】 常緑針葉樹ナギの拡大の抑制	ナギの数量調整の試行(平成26年) ナギ拡大状況調査(平成27年) 「春日山原始林における常緑針葉樹 ナギの本格的な数量調整方法(案)」 (平成27年)	数量調整の実施方針の検討(平成28年～令和4年)		数量調整後のモニタリング	
			ナギの数量調整実施箇所の検討・現況把握 (令和3～4年) ナギの数量調整の実施(令和5年)		ナギの数量調整の実施範囲の拡大
【保全方策6】 ナラ枯れの拡大の抑制	ナラ枯れ対策事業の実施 (平成24年、平成26年)	「ナラ枯れ対策実施計画」(平成29年)	ナラ枯れ被害状況調査(大径木追跡調査、平成27～令和3年) 大径木(未被害木)を対象とする薬剤樹幹注入(2回、平成30～令和6年)	カシノナガキクイムシ 生息状況調査(つなぐ会)	ナラ枯れ対策の効果検証
			カシノナガキクイムシ生息状況調査(春日山原始林を未来へつなぐ会、平成28年～令和8年予定)		
【保全方策7】 花山・芳山人工林の保全・利活用	基礎調査・保全活用方策の検討 (平成24年)	檜皮(荒皮)の採取(平成25年3月～)		黒皮の採取(令和5年～)	
				75.0 kgの黒皮を採取	人工林の保全・利活用の検討
【保全方策8】 保全事業を円滑に実施し得る 仕組みづくり	「春日山原始林を未来へつなぐ会」 設立(平成26年)	普及啓発資料(案)の作成 (平成29年) 春日山原始林PR動画 (4K映像)の撮影(平成30年)	パンフレット「春日山原始林」の発行・配布 (令和3年)	シンポジウム「春日山原始林の これからの100年に向けて」	関係機関・人材との連携・協働による保全事業 の実施
			講演会、ワークショップ等の開催(奈良公園バスターミナル)		
【保全方策9】 多様な主体の参画			市立椿井小学校への出張授業(令和2年) 奈教大附属中フィールドワーク等への協力 (令和2年～) 市立飛鳥中学校の実証実験の参加(令和5年)	奈教大附属中への種子の提供 (つなぐ会)	保全事業の担い手の育成 保全事業の充実と継続
【保全方策10】 春日山原始林に関する 基礎情報のマネジメント		航空レーザー測量の実施 (平成29年)	管理体制のあり方・保全方策・手法についての 検討(令和3年)	保全計画・保全方策の再検討 (目標の見直し等)	基礎情報の一元化、データベースの作成、 情報発信手法の検討 航空レーザー測量の実施
委員会・部会等の開催	第1～9回委員会 第1～3回花山・芳山部会	第10～12回委員会 ナラ枯れWG準備会(平成28年) 第1～2回ナラ枯れWG 第1～3回後継樹育成WG 第4回花山・芳山部会	第13～18回委員会 第4～13回後継樹WG 第1～5回3委員会意見交換会	第19回委員会 第14、15回後継樹WG 第6、7回3委員会意見交換会	委員会、WG、部会の開催